

令和 2年 6月 8日発行

本校では「自立・自学」の校訓のもと、「リーダーとして社会に貢献できる有為な人材の育成」を目標に掲げ、会津の歴史を次代に継承し、地域の発展に貢献できる人間の育成を目指しています。この目標の実現を目指し、大学入試に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育み、自分の人生を自らの意志で選択し主体的に生きてゆけるようにするため、3年前に校内組織として葵高校教育改革プロジェクトチーム（通称：A P T）を発足させました。特色ある学校づくりを目指して教育改革に取り組んでいます。

『私の選択には、意志がある。』

葵高校では「自ら考え、行動し、自分の考えを発信できる生徒」を目指して、学校改革スローガンを設定しております。

学校改革の柱の一つに「アクティブラーニング（AL）の実践」があります。ALつまり「主体的、対話的で深い学び」の実現を図るために、次のような取り組みをしています。

◆「主体的な学び」

「主体的な学び」とは、学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげることです。



課題探究活動「葵ゼミ」でのマインドセット



探究テーマ設定のための自分ノートづくり

◆「対話的な学び」

「対話的な学び」とは、生徒同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること（自己との対話）等を通じ、自己の考えを広げ深めることです。身に付けた知識や技能を定着させるとともに、物事の多面的で深い理解へと導いた

めにも、多様な表現を通じて、教職員と生徒や、生徒同士が対話し、それによって思考を広げ深めていくことは大切です。



コミュニケーション英語でのグループワーク



葵ゼミでのグループワーク

◆「深い学び」

「深い学び」とは、習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすることです。



ICT を活用した思考力を育む生物の授業



知識を整理し、関連づけ、まとめるノートづくり

「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の三つの視点は、生徒の学びの過程としては一体として実現されるものであり、それぞれ相互に影響し合うものです。授業をおこなう教師は、それぞれ固有の視点であること、学びの本質として異なる側面から捉えるものであることに留意して取り組んでいます。

生徒たちの学びが単元や題材のまとまりの中で、これら三つの視点を満たすものになっているか、それぞれの視点が相互にバランスがとれているかについて配慮することで、生徒たちが質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けることができるようにすることを目指しています。